

# たより

〒037-0305  
青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8  
【仮庁舎 令和2年12月まで】  
〒037-0202  
青森県五所川原市金木町芦野200-498  
TEL : 0173-53-3848 FAX : 0173-54-2102  
E-mail : t\_gijyutu\_c@maff.go.jp

### 自主開発課題の紹介について



日本三大美林のひとつである青森ヒバは、戦後の拡大造林の影響を受け、生育面積や良質な大径木が減少している状況にあります。このような中、天然下種更新技術の開発を目的とし、当センターではヒバ天然林へのジベレリン処理による着果促進技術の検証を行っております

（技術開発期間：平成28年度～令和2年度）。

今年度は令和元年7月25日に三八上北森林管理署管内の野辺地町に位置する国有林において、ジベレリン処理木の着果状況をドローンにより調査したところ、林冠に球果が確認されました。

今後もヒバ天然林に対するジベレリン処理の有効性について検証するため、処理木に由来する種子の発芽率や落下量、稚樹の発生消長等、引き続き調査を継続していく予定です。



### 移転のお知らせ

森林技術・支援センターは新築工事に伴い、令和元年6月1日から工事完了（令和2年12月末予定）までの間、津軽森林管理署金木支署敷地内（旧金木森林事務所）に移転しております。



## さえずり



青山です！

業務係  
青山 岳彦



センターの移転整理が一段落し、落ち着いた日常に戻りつつあります。仮庁舎周辺はアシ原が広がっており、業務中心と耳を澄ますと、野鳥の音が聞こえます。その中でも、ひときわ元気なのがオオヨシキリです。雄はよく響く大きな声で「ギッギッギッ ギョギョシ ギョギョシ」とさえずり、その鳴き声「行々子」は小林一茶や松尾芭蕉に俳句で詠まれるなど夏の季語になっています。

少し離れたところから、同じく夏鳥であるカッコウのさえずりが聞こえます。その鳴き声からのどかな印象を受けますが、カッコウの仲間は「托卵」という習性を持ち、他種の巣に産卵し仮親にひなを育てさせます。カッコウは様々な鳥に托卵しますが、そのひとつがオオヨシキリです。当然、オオヨシキリは托卵を防ぐため、カッコウが巣に近づくと猛烈に追い立てます。一方、カッコウは親鳥が巣を離れる一瞬の隙を伺っています。

私たち人間からするとする賢いようですが、カッコウにしてみれば進化の過程で獲得した生き残るための戦略です。今日も仮庁舎周辺では両者の攻防が続いています。どちらも身近な野鳥なので、みなさんも観察してみてくださいはいかがでしょうか。



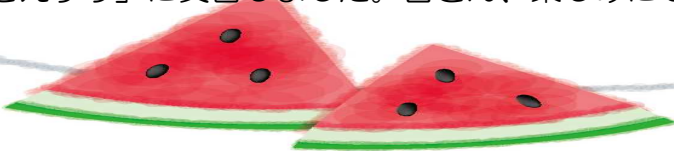
## ◆ お世話になりました ◆

令和元年6月1日付け人事異動

環境省出向へ（東北地方環境事務所）

増田 悠介（森林技術専門官）

今年の青森は空梅雨に終わり、最近暑い日が続き、熱い夏祭りを迎えるところです。記事にもありますが森林技術・支援センターは庁舎新築のため、仮庁舎へ一時移転しました。旧森林事務所のため手狭ではありますが、和気藹々と職務に取り組んでいます。6月1日付けで増田森林技術専門官が環境省へ異動となり、今月号よりコラムは業務係青山技官の「さえずり」に交替しました。皆さん、楽しみにして下さいね。



編集後記